

EXPO2025大阪・関西万博日本政府館アテンダントユニフォームのリサイクル品寄贈について



2026年4月9日

東レ株式会社

大阪府立園芸高等学校

東レ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：大矢光雄、以下「東レ」）は、2025年4月～10月まで開催されたEXPO2025大阪・関西万博に経済産業省が出展した日本政府館（以下、「日本館」）にて使用されたアテンダントユニフォームを回収し、1,000個のフラワーポットに再生して大阪府立園芸高等学校（所在地：大阪府池田市 校長：竹田 賢司）に寄贈しました。

アテンダントユニフォームは、東レの部分植物由来ポリエステル繊維「[ecodear®（エコディア）](#)」と回収されたPETボトルを粗原料としたリサイクルポリエステル繊維「[&+®（アンドプラス）](#)」が使用され、またボタンやジッパーを使用せずリサイクルしやすい設計にしました。今回、回収されたユニフォームは、株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパンにてPET樹脂に再生され、フラワーポットが制作されました。寄贈されたフラワーポットは、大阪府立園芸高等学校が校内のイベント、小学校等との交流、地域におけるワークショップの活動等、多岐にわたり使用する予定です。



贈呈式の様子



■ フラワーポットについて

フラワーポットの原料樹脂は、ユニフォーム由来の再生PETが約70%、PETボトル由来の再生PET約15%、再生ABSが約15%で構成されています。



フラワーポット

■ 日本館アテンダントユニフォームについて

日本館アテンダントのユニフォームは、着心地や暑さ対策、機能性に加え、再生資源を活用した素材を使用したものです。

日本館が掲げた「いのちと、いのちの、あいだに」というテーマのもと、資源循環の考え方を体現する取組の一つとして設計されたものであり、会期終了後は回収・再資源化され、新たな製品として生まれ変わることで、日本館が示した循環の考え方を継承しています。

ジャケット・ボトム・ベスト素材：東レの部分植物由来ポリエステル繊維ecodear[®]を使用しつつ、アテンダントの作業負担を軽減する軽量化・ハイストレッチ・速乾性・耐洗濯性に優れた素材を採用。

スカーフ素材：ecodear[®]かつ、東レ防透け性・吸水速乾性を有するテキスタイル「[スプリンジー[®]](#)」を使用することで吸水速乾性や通気性に優れた素材を採用。

インナー素材：廃回収PETを粗原料としたリサイクルポリエステル&+[®]を使用しつつ、東レのスプリンジー[®]を使用することで、吸水速乾性、クーリング効果、UVカット、防透け性、通気性など夏場で求められる機能を満たした素材を採用。



提供：経済産業省

アテンダントユニフォーム

■ 株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパンについて

株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパン（本社：広島県福山市、代表取締役社長：和田顕男）は、1994年に環境先進国ドイツで設立された「ECOLOG RECYCLING GmbH」のアジア圏のパートナーとして同年設立されました。エコログリサイクル工場は「びんごエコタウン」事業において全国初の繊維リサイクル施設として中核施設に位置づけられており、主にポリエステル由来の衣類品のマテリアルリサイクルとリサイクルを前提としたものづくりを普及させることで、サステナブルファッションの推進に向けた事業活動に取り組んでいます。

フラワーポット製造における工程画像

以上

東レ公式SNS



note



Copyright © 2026 TORAY INDUSTRIES, INC.